



日本の宝島“天草”の創造を目指して!

市政だより AMAKUSA 天草



「下田温泉祭の『お湯かけ女神輿』」

5月9日・10日に温泉の恵みに感謝する「下田温泉祭」が開催されました。10日に行われたメインイベントの『お湯かけ女神輿』では、神輿をかついだ女性たちに、沿道からお湯が浴びせられ、びしょぬれになりながらも「ヨイヨイヨイヤサ」の元気な掛け声とともに温泉街を練り歩きました（11ページに関連記事）。

主な内容

- 風水害から身を守ろう…………… 2～3
- ワークライフバランス…………… 4～5
- 健やか生きいきプラン…………… 6
- 天草市景観計画…………… 7
- 牛深ハイヤ祭り…………… 8～9
- 春のわだい満載!…………… 10～11
- 宝島の話題・みんなの広場…………… 12～19

平成21年

6

7

No.76

風水害から身を守る

これからの梅雨時期から秋にかけて、大雨や台風などによる風水害が発生しやすくなります。風水害から身を守るためにはどうしたらよいか。私たちの備えと行動について今一度考えてみましょう。



日ごろの備えを十分に！

家の周りや地域の危険箇所を確認する

大雨が降ったり、台風が接近したりしたとき、皆さんの家や地域は安全ですか。皆さんが住んでいる地域で過去に洪水や浸水、山崩れ、がけ崩れなどの災害が発生したことがあるか、また、どのような危険があるかを調べておくことが大切です。家の周りや地域を見回して、危険箇所がないか確認しておきましょう。

などの危険区域に指定されているかどうかは、本庁(別館)・河川港湾課または牛深支所・建設課、その他の支所・産業建設課、県天草地域振興局工務第二課で確認することができます。

また、自宅の窓や屋根、雨どいや側溝、壁などを点検し、壊れているところがあったら早めに修理しておきましょう。

避難場所や避難方法の確認を

自分の住む地域が「急傾斜地崩壊危険箇所」「土石流危険渓流」「地すべり危険箇所」

市が指定した避難場所(3ページ参照)までの経路について家族で話し合い、確認し

非常持出品の準備・点検は?

いざというときのために非常持出品を用意しておきましょう。非常持出品として準備する乾パン・缶詰・栄養補助食品などの非常食や飲料水(いずれも3日分を目安)、懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、衣類、救急医薬品、現金などは日ごろから準備・点検しておきましょう。

被害を最小限に抑えるために

気象情報などは最新情報を把握する

台風や大雨などのときに発表される注意報や警報は、各地域の住民の皆さんに注意を呼びかけ、災害による被害を最小限に食い止めることを目的としています。注意報は災害が起こるおそれがあるとき、警報は重大な災害が起こるおそれがあるときに、それぞれ発表されます。

チャンネルによる災害情報の放送(同テレビ加入世帯のみ)

早めの避難と高齢者などへの協力を

警報や避難の勧告・指示が出された場合、または勧告などがなくても長雨や大雨などで身の危険を感じたときは、事前に決めていた避難場所へ速やかに避難してください。

台風や梅雨前線の動きなどについては、テレビやラジオなどで伝えられる気象情報や注意報・警報などで最新の情報を得るようにしましょう。なお、市や県では主に次の方法で市民の皆さんに情報を提供します。

- 防災行政無線による放送
- 熊本県統合型防災情報システムホームページ
<http://www.bousai.pref.ku>
mamot.jp
- 天草ケーブルテレビの市民

※詳しいことは、本庁・防災交通課防災消防係 ☎111 11 内線1231へお尋ねください。

市の指定避難場所(大雨・台風時における1次避難所(自主避難を兼ねる))

地区名	場所	地区名	場所		
本渡	本渡南	本渡南公民館	倉岳	宮田	宮田公民館(8月1日から)
	本渡北	天草市中央公民館	栖本	河内	栖本町公民館
	亀場町	本渡北公民館		栖本	栖本支所
	楠浦町	亀場町公民館	新和	小宮地	新和市民センター
	栢宇土町	楠浦町公民館		宮南公民館	
	志柿町	栢宇土町公民館		大宮地	大宮地公民館
	下浦町	志柿町公民館		大多尾	大多尾公民館
	本町	下浦町公民館	五和	中田	中田公民館
佐伊津町	本町公民館	碓石		碓石公民館	
宮地岳町	佐伊津町公民館	天和	御領	五和支所	
牛深	牛深幼稚園		鬼池	大島公民館	
	牛深総合センター		二江	鬼池公民館	
久玉町	天附体育館		手野	通詞島多目的集会所	
魚貫町	くたまふれあいセンター	五和漁村センター			
深海	魚貫町池田いきいきふれあい館	城河原	山浦公民館		
	ふかみふれあいセンター		手野公民館		
二浦町	ふかみふれあいセンター	天草	地域交流センターおおくす		
楠浦	二浦地区多目的研修集会施設		福連木	地域交流センターおおくす	
大浦	楠浦公民館		下田北	福連木多目的集会所	
須子	大浦公民館		下田南	天草町民センター	
有明	須子	須子公民館	大江	高浜	天草支所
	赤崎	赤崎公民館		高浜公民館	
	上津浦	赤崎公民館		天草交流センター	
御所浦	上津浦	上津浦公民館	新合	新合公民館	
	下津浦	下津浦公民館		今田地域交流施設	
	島子	島子公民館	一町田	一町田小学校第1分校体育館	
	御所浦	島子公民館		河浦支所	
倉岳	御所浦南	御所浦島開発総合センター	富津	富津公民館	
	御所浦北	御所浦交流センター		宮野河内	宮野河内公民館
	嵐口	御所浦漁村センター			
	浦	倉岳老人憩いの家(7月31日まで)			
	棚底	浦公民館(8月1日から)			
	宮田	倉岳老人福祉センター			
		倉岳地域福祉センター(7月31日まで)			

※8月1日から倉岳町の浦地区は浦公民館、宮田地区は宮田公民館へ変更になります。市の災害指定場所については、市ホームページの「防災・災害情報コーナー」でもご覧いただけます。

災害が発生したとき、発生のおそれがあるときは災害対策本部を設置し対応します

市では毎年、梅雨時期を前に防災会議を開き、防災計画を見直す一方、危険箇所なども点検しています。この結果を踏まえて作成した「天草市地域防災計画書・天草市水防計画書」は、本庁・防災交通課や各支所・総務振興課に備え付けていますのでご覧ください。

大雨や台風に伴う警報などが発令されると、市(本庁・各支所)では警戒体制をとり、情報の収集を行います。また、災害が発生したときや、災害発生のおそれがある場合は、市役所本庁舎内に災害対策本部を設置し、災害に対応します。

※災害が発生したら…
本庁・防災交通課 ☎1111 内線1231
各支所・総務振興課
または災害対策本部 ☎0005(直通)へ

『土砂災害警戒情報』を防災行政無線でお知らせします

熊本地方気象台と熊本県では、大雨警報発表中に土砂災害の危険性が高まったときに、住民の自主避難などの参考になるよう『土砂災害警戒情報』を発表されます。

市では、『土砂災害警戒情報』が発表されたときに、市民の皆さんにいち早く情報をお伝えするため、深夜・昼夜を問わず、防災行政無線でお知らせすることとしました。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお、『土砂災害警戒情報』は、市内10地域を「東部(本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和)」と「西部(牛深・天草・河浦)」に分けて発表されますが、防災行政無線でのお知らせは、危険性が高まっている地域のみに行います。

いきいきと暮らせる 毎日を目ざして

～大切なワークライフバランス～

ワークライフバランスって何？

皆さんは、「ワークライフバランス」という言葉を耳にしたことがありますか。

ワークライフバランスとは、仕事や家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分が希望するバランスで実現できる状態のことで「仕事と生活の調和」を意味する言葉です。

「仕事と生活の調和」は、よく子育て期の女性や男性に対してのものだと誤解されがちですが、独身の人や高齢者、障がいのある人などさまざまな活動を行う人のためのものであります。

仕事や子育て、介護、自己啓発などは人生の場面や個人の事情、希望によって変わります。誰もが個人の判断で自分の希望するバランスを決めたいと思っており、またそうした社会づくりは、時間的な余裕による精神的負担の減少、働き方の見直しや仕事の効率化などにより意欲や創造性が高まり、仕事の充実にもつながるため、仕事と生活の両方に好循環をもたらすと考えられます。

せたいという希望を持っていたとしても、現実はいまよりうまくいっていない状況があります。

理想と現実には大きな差

平成20年8月に内閣府が行った生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度を調査した結果（右表）によると「仕事優先」を希望すると回答した人は、全体の2・3%です。

0%でした。しかし、現実には48・5%と約半数の人が「仕事優先」の生活を送っているという結果になっています。

男女別に見ると男性、女性ともに仕事優先を希望としている人はそれぞれ3・2%と0・9%であるのに対し、現実には男性が62・2%、女性は34・8%と理想と現実が大きくかけ離れていることがわかります。また女性は、「家庭生活の優先」

◆生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度

優先度	男性		女性	
	希望 (%)	現実 (%)	希望 (%)	現実 (%)
「仕事」	3.2	62.2	0.9	34.8
「家庭生活」	18.7	8.5	18.3	30.2
「地域・個人の生活」	5.0	2.3	2.7	1.7
「仕事と家庭」	24.0	9.9	25.4	13.1
「仕事と地域・個人の生活」	5.5	3.1	4.3	2.7
「家庭生活と地域・個人の生活」	9.0	0.6	9.0	3.1
「仕事と家庭と地域・個人の生活」	27.6	1.4	33.9	3.2
わからない	7.0	12.0	5.6	11.3
	100	100	100	100

※仕事と生活の調和（ワークライフバランス）に関する意識調査
【平成20年8月：内閣府】

～大切なのは コミュニケーション～

天草信用金庫・総務部

次長 斉藤高子 さん



結婚、出産、育児、親などの介護など、人生にはいろいろな場面があります。仕事も、転職や業務内容が変わったりすることもあります。このような中で「仕事や家庭、趣味や地域の活動などをどううまく組み合わせるのか」こんな悩みを持つ方はたくさんいらっしゃると思います。

いま天草信用金庫の総務部に所属していますが、仕事から、子育てや介護などの悩みを抱える従業員の相談を受けることもあります。私も出産、子育て、親の介護をしながら仕事を続けた経験者であり、その大変さはよく知っています。

以前は育児休業などの制度はなく、仕事をやめて子育てや介護に専念しようかと悩んだこともありましたが、職場と家族の理解があり仕事を続けることができました。

いまは育児休業などの支援制度は社会全体で取り入れる動きが進み、天草信用金庫でもいち早く制度を取り入れていただき、従業員に対する支援をしていただいています。悩みを抱えている従業員に対しては理解ある職場であることを説明しながら、経験談も交え、安心して仕事ができるような存在でありたいと思っています。

雇用問題や少子高齢化、介護など多くの社会問題が叫ばれるなか、国をあげて「ワークライフバランス」ということが言われます。団塊世代が大量退職を迎えているなか、従業員を大量に採用で

きる状況ではなく、以前よりも仕事は量も増え、複雑になっている時代です。量や質が変われば仕事に対する姿勢も変えなければならず、残業や休日出勤が増えればますます家庭や趣味、地域活動に参加するといった時間は減ってきます。私はこんなときに大切なことは、まず職場や家庭、地域でのコミュニケーションだと思っています。

私も営業店から総務という仕事に変わった際に、とにかく仕事のことを何もわからないから勉強をさせてほしい、しばらく仕事に専念したいと家族に相談しましたし、上司や女性職員の仲間にも支えになってもらいました。そのとき思ったことは、「他人ができることは自分にもできる」ということです。わが家ではいま夫や息子が買い物にいたり、夕食の準備をしたりと家事を手伝ってくれています。

そして、男女共同参画社会を推進する団体にも所属させてもらっていますが、こうした市民活動団体での人との出会いや交流は自分自身が勉強できる場でもあり、こうしたつながりが仕事に役立っていく部分がかなりあります。

仕事や家庭生活、そして趣味や地域での活動など一人ひとりが充実した生活を送ることとは何か、どうすればワークライフバランスを実現できるのかを考えることで、まずは一歩前に進むのではないかと思います。

を希望とする人は18・3%ですが、現実には30・2%の人が「家庭生活の優先」の生活を送っているといった結果となり、男性と女性では傾向が異なっています。

「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、希望とする生活と現実の生活が一致している人は約15%にとどまり、ここでも希望と現実には大きな差があることがわかっています。

市内の民間事業所に対して 調査を実施

ワークライフバランスは、国をあげて取り組むべき課題として位置づけられており、企業や事業所でも取り組みが増加しています。

市では、ワークライフバランスを含めた男女共同参画行政推進のため、市内に所在する企業や事業所を対象に、仕事と家庭生活の両立支援の取り組みや、女性労働者に対する雇用管理などを調査項目とした調査を8月頃から実施する予定です。ご理解とご協力をお願いします。

※詳しいことは、本庁・男女共同参画室 ☎1111 内線1317へお尋ねください。

「日本の宝島“天草” 景観からの島づくり」のために

— 景観計画を策定 —

市では、天草らしい良好な景観を保全・育成・創造していくため「天草市景観計画」を策定しました。

同計画の詳細については本庁（別館）・都市計画課または牛深支所・建設課、その他の支所・産業建設課のほか、市のホームページでもご覧いただけます。

良好な景観の形成に関する基本方針

①豊かな自然景観を守る

- 国立公園とそれに連なる地域の保全
- 海岸線や川の景観や山並みの保全 など

②誇りある文化的景観を育む

- 文化的遺産の形成
- 生業に支えられた里地・里山・里海の保全と再生 など

③風格ある都市景観を創る

- にぎわいと活力を生み出す景観の創出
- 自然と歴史が調和したまち並みづくり など

④市民とともに築く

（市民の役割として）

- 市民主体の景観まちづくり活動の展開
- 景観形成のルールづくりへの参加・協力

（事業者の役割として）

- 自発的な景観まちづくり活動の展開
- 地域の景観の形成に向けた取り組みへの協力と社会貢献

（市の役割として）

- 市民や事業者に対する景観施策の啓発、支援
- 地域の特性を生かした景観の保全と再生に向けた取り組み など



良好な景観形成のための行為の制限

大規模な建築物や工作物の新築など、周囲の景観に与える影響の大きい行為については、行為の着手前に届け出が必要です。

また、景観形成上重要な地域として指定している景観形成地域（右図）では、大規模な行為だけでなく一定規模を超える行為についても届け出が必要です。

※届出対象規模などの詳細については、本庁（別館）・都市計画課へお問い合わせください。届出書様式は、市ホームページ内「申請書ダウンロード」よりダウンロードできます。



【問い合わせ先】 本庁（別館）・都市計画課景観整備係 ☎1111内線2635



健やか生きいきプラン



（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）を策定

市では、高齢者の保健福祉を総合的に展開していくため、高齢者の保健福祉全般にわたる計画として、「健やか生きいきプラン」を策定しました。

今回、平成21年度から同23年度までの計画の概要についておしらせします。なお、同計画は本庁・高齢者支援課または牛深支所・保健福祉課、その他の支所・市民生活課で閲覧できます。

■基本目標

- ①心身ともに健康である…生活習慣病・がんなどの予防や健康づくりの継続
- ②生きがいがある…自己実現や社会参加につながる自立した生活の確保と継続
- ③病気や障がいがあっても安心して自立した生活ができる
…身近な地域でのサービスの包括的・効果的な提供
- ④地域の助け合いがある…市民・地域の連携強化



■各分野ごとの施策

●健康づくり施策の推進

生涯を通じた健康づくりにあたっては、「天草市健康増進計画」と連携を図りながら、一人ひとりの主体的・継続的な取り組みを支援していくなど、健康づくりを支える環境の充実を図ります。

●高齢者福祉の推進

高齢者の多様性や自発性を尊重する高齢社会を実現するためには、高齢者が地域社会の中で、豊かな経験と知識を生かして、積極的に役割を果たすことができる社会づくりが求められています。

そのため、就業機会の提供や、高齢者の地域活動に関するさまざまな支援などにより、高齢者の社会参加の機会を増やしていきます。

- ※①高齢者の居住環境の整備や生活支援の推進
- ②生きがいづくりと社会参加③高齢者を支える地域の理解（心のバリアフリーの推進）④家族介護者への支援⑤福祉施設などの環境整備

●介護予防の推進

対象者の状態にあわせた介護予防の取り組みが、連続性・一貫性を保って提供されるよう、関係機関との連携を進めながら、地域支援事業をはじめとした介護予防事業の充実を図ります。

- ※①各地域包括支援センターの事業の周知②介護予防の意識の啓発③地域支援事業の推進・充実④介護予防支援事業（予防給付）の充実

●介護保険による高齢者支援の推進

高齢者が介護を必要とする状態になっても、適切なサービスを利用しながら、可能な限り住み慣れた地域や家庭で自立した生活を続けられるように、介護保険制度によるサービスを充実します。

- ※①情報提供の充実②介護サービスの質の向上③公平・公正な介護保険事業の運営④安定的な保険財政の運営

●地域支援体制の整備

介護や支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、身近な相談窓口を充実し、速やかなニーズの把握に努め、適切なサービスの円滑な提供や介護者の負担の軽減などを進めることにより、地域全体で高齢者を支える体制の整備を進めます。

●認知症高齢者の支援の推進

認知症の高齢者と暮らす家庭の負担も大きく、地域全体の支援が必要となっています。

このような状況を踏まえ、認知症に対する市民の理解を深め、認知症高齢者と家族に対して、認知症の段階にあわせて適切なサービスが継続的に提供できるように、地域における支援体制（認知症サポーターなど）を整備し、認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくりを進めます。

【問い合わせ先】 本庁・高齢者支援課介護給付係 ☎1111内線1192

熱気に包まれた牛深ハイヤ祭り

天草の春の一大イベント“第38回牛深ハイヤ祭り”が4月17日から同19日までの3日間、牛深町の中心商店街などで盛大に開かれました。祭りのメインであるハイヤ総踊りには延べ57団体・約3,000人が参加。開催期間中は晴天に恵まれ、3日間合わせて約8万人の観光客らが県内外から訪れました。熱気に包まれた“牛深ハイヤ祭り”を写真で振り返ってみましょう。



▲51隻の漁船が海上を勇壮にパレード



▲「輝けハイヤの競演」には8団体が出演し、ハイヤ踊りや三味線の演奏などを披露！



4/17

4/19



▲祭りを彩ったハイヤ娘の4人



▲“踊りハイヤ大賞”に輝いた天草南風凜風会



▲「水産フェア」では刺身やあら煮など1,000人分が完売



▲“花車ハイヤ大賞”に輝いた牛深保養院



▲観客も総踊りを楽しみました



4/18



▲子どもたちが元気よく商店街などをパレード



▲「ハイヤ記念式典」では牛深ハイヤ保存会が踊りを奉納



▲にぎわった「お祭り野外ライブ」



▲大盛況の「牛深名産ハイヤ市」



▲ハイヤ踊りの講習会も実施



▲「ハイヤ総踊り」には2日間あわせて57団体・約3,000人が参加！



▲ボランティアスタッフと楽しそうに歌う子どもたち

笑顔のヒミツは本の中？

～子ども読書週間記念おはなし会～

4/26
河浦

4月26日、河浦図書館で「子ども読書週間記念おはなし会」がありました。これは、同館が子ども読書週間にあわせて開催したもので、55人の親子などが参加しました。会では、本の読み聞かせボランティア「ななつの子の会」のメンバーによる絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなどがありました。参加した子どもたちは絵本をじっくり見つめ話に聞き入ったり、手袋で作った指人形の数え歌を歌いながら踊ったりして楽しいひとときを過ごしました。

丹精込めて育てた茶葉を収穫！

～“茶摘み”体験～

4/30
倉岳

倉岳小学校の4年生23人が4月30日、“茶摘み”を体験しました。当日は、荒平集落営農組合の皆さんからお茶の摘み方を教わった後、黄緑色に輝くお茶の葉っぱを一枚ずつついでに摘み取りました。参加した児童は、「つるつるとしてとても気持ちいい。やわらかくてフワフワしている」と初めて手にした茶葉の感触に感動していました。

その後、同営農組合の皆さんが用意した棚田米のおむすびなどを食べ、楽しいひとときを過ごしました。



▲お茶の摘み方を熱心に聞く児童たち

お気に入りの一品を求めて！

～天草西海岸春の陶器市～

5/1～6
天草

5月1日から6日まで、天草町と苓北町にある12の窯元などで「天草西海岸春の陶器市」が開催されました。

各会場には、上品な白磁や温かみのある焼き物、陶石の素材を生かした石材などが並び、来場者の目を引きつけていました。期間中は通常より2割から5割も安く手に入れることができるとあって、各窯元の特徴ある形や色に目を凝らしては、気に入った焼き物を手に取り、会話を弾ませながらも真剣なまなざしで品定めをしていました。



▲真剣なまなざしで陶磁器を選ぶ来場者

いっしょに踊りませんか？

～ハイヤ体験講座～

5/9
牛深

5月9日、うしぶか海彩館で「ハイヤ体験講座」が開催されました。これは、牛深地区振興会が祭り以外でもハイヤ踊りを体験してもらおうと始めたもので、この日は観光客や地元の小学生など20人が参加し、スタッフの指導のもと輪になって踊りを楽しみました。同講座は(11月まで)毎月第2・4土曜日の午前11時から開催しています。皆さんもぜひ踊ってみませんか。詳細は、牛深地区振興会事務局(牛深支所・総務振興課内)☎☎2111まで。



▲子どもたちもいっしょに楽しくハイヤ踊りを体験！

魚も笑顔も大漁、大漁！

～仕切網漁体験～

4/26
新和

4月26日、新和町の宮地浦湾で、今年で3回目となる「仕切網漁体験」が行われました。仕切り網漁は、満潮時に湾口を網で仕切り、干潮時に魚を捕る漁法で、県内外から約200人の家族連れなどが参加しました。当日は、肌寒い天気ながら、参加者は潮が引いた海へタモ網などを握りしめ獲物めがけて一斉に突入。チヌやイカ、セイゴなどを追いかけて捕っていました。捕った魚は地元の人たちに下ごしらえをしてもらい、お土産に持ち帰りました。



▲“あ、お母さん魚が入っているよ！”



Treasure Island Topics 宝島の話題

ブルーツーリズムのシンボル完成

～「イルカのぼり」がお目見え～

4/25～8/31
五和

4月25日、「イルカのぼり」が空に泳ぎ始めました。これは、五和ツーリズムネットワークがイルカウォッチングをはじめ、五和地域の漁業体験(ブルーツーリズム)などのPRを行うために製作したもので、五和沖合いなどに生息するバンドウイルカに近いサイズで設計されています。

現在、二江のイルカウォッチング船発着所や総合交流ターミナル施設ユメール、天草空港などに約60頭が泳いでおり、8月31日まで楽しむことができます。



▲潮風の中を気持ち良さそうに泳ぐ「イルカのぼり」

ホテルが飛び交う河内川を目ざして

～栖本ホテルの会・河内川清掃活動～

4/26
栖本

4月26日、栖本ホテルの会(坂本和也代表・16人)が河内川(中河内～下河内間)の清掃活動を行いました。この日は、栖本地区振興会の環境部会員や地元有志など30人が参加。川の中を約3時間かけて歩き、川底や石のすき間に挟まった空き缶やビニールなどのゴミ拾いに汗を流しました。参加者は、「想像以上のゴミの量に驚いた。この結果を区民にも伝えて、ゴミのない川を目ざして、一丸となって取り組んでいきたい」と話していました。



▲石の間に挟まったゴミを取り除く参加者たち

「世界ジオパーク認定」を目ざして

～天草ジオパーク構想推進協議会設立～

御所浦町をはじめとする天草の地層を保全しながら、観光などを通して地域経済や教育文化の発展につなげるジオパーク（大地の遺産を活用した公園）の国際登録を目ざし、「天草ジオパーク構想推進協議会」（会長＝安田市長ほか委員14人）を4月23日に設立しました。あわせて行われた初会合では、10月に決定する「日本ジオパーク」の認定に向けて観光ボランティアガイドの育成や観光モデルコースの選定、案内板の設置などに取り組むことを確認しました。



▲ジオパークの認定に向けあいさつする安田市長

市民の防災意識の高揚を図る

～天草市総合防災訓練～

5月10日、「天草市総合防災訓練」を御所浦町の嵐口漁民グラウンドなどで実施し、市消防団員、地域住民など約400人が参加しました。訓練では、震度5強の地震が発生し、同町嵐口地区を中心に大規模な災害が起きたと想定。災害対策本部の設置や消火・救助などの訓練を行いました。

また、地震の揺れを体験できる「起震車」には多くの参加者が試乗し、予想以上の揺れに驚きながらも「地震が突然襲ってきても冷静に対処できれば」と話していました。



▲震度5の揺れを必死に耐える参加者

「棚底城跡」が市初の国指定史跡へ

～文化審議会が答申～

国の文化審議会は5月15日付けで、倉岳町棚底にある「棚底城跡」を史跡として指定するよう文部科学大臣に答申しました。今後、同大臣の告示により正式に史跡として指定される見通しで、市としては初の指定。

同城跡は戦国時代に、天草五人衆である上津浦氏と栖本氏との抗争の舞台となったことで知られており、14世紀後半から16世紀後半ごろの岩盤加工を施した城郭が県下に類を見ない例として高く評価されました。



▲上空から見る「棚底城跡」

「横浦島」と「通詞島」が『島の宝100景』に！

～島の宝100景選定～

このほど、横浦島（御所浦町）の「籠船」と通詞島（五和町）の「イルカが泳ぐ通詞島」が、『島の宝100景』に選定されました。

これは、国土交通省が、島の暮らしや人々の営みがわかり、「島の宝」として次世代に引き継いでいきたい、活かしていきたい景観を全国各地から募集したもので、547件の応募の中から選ばれました。いずれも、美しい自然や暮らしなどが息づく景観として、高い評価を受けたものです。



◀「籠船」



▶「イルカが泳ぐ通詞島」

生き生きふれあい輝くみらい

～輝き大会天草ブロック大会～

5/10
本渡

5月10日、「第16回輝き大会天草ブロック大会」（知的障がい者スポーツ大会）が稜南中学校グラウンドで行われました。同大会は、知的障がい者がスポーツを通して、心身の発達と健康の維持や増進を図ることなどを目的に実施しているもので、選手や保護者など約1,000人が参加しました。当日は、初夏のような日ざしの中、徒競走やこうち競走などで熱戦が繰り広げられ、応援席からは大きな歓声がわき起こったり、温かい声援や拍手が送られていました。



▲ゴール直前まで熱戦を繰り広げる選手たち



▲鮮やかに色づくマンゴーを収穫する山下さん

期待の天草ブランド品がお目見え！

～マンゴーの収穫始まる～

5/11
牛深

5月11日、久玉町にある山下亀男さん（二浦町亀浦）所有のマンゴー園で、市が特産化を進めるマンゴーの収穫が始まりました。同園には、250本のマンゴーの木に約7,000個の果実がたわわに実をつけ、完熟を示す枝からの落下をわれ先にと急いでいるようでした。鮮やかな赤に色づいた果実に触れながら山下さんは、「今年は例年に比べ量、質ともに良い出来」と満足そうに話していました。収穫は6月にピークを迎え、主に東京・大阪方面などに出荷されます。

学校の安全を協力して守ろう！

～御所浦小学校・不審者対策訓練～

5/12
御所浦

5月12日、御所浦小学校で「不審者対策訓練」が行われました。これは、不審者が校内に侵入した際のいざというときのため、立ち向かう教職員の対応や、児童たちの安全確保などを学ぶもので、毎年実施しています。訓練は、同校4年生の教室に不審者が侵入したと想定。御所浦駐在所の押方警部指導のもと、さすまたを使った不審者の押さえ込み方や避難方法などの訓練を行い、参加した児童たちは真剣なまなざしで取り組んでいました。



▲さすまたで不審者を押さえ込むようす

火遊びは絶対しません！

～赤崎保育所幼年消防クラブ入部式～

5/13
有明

5月13日、赤崎保育所で「幼年消防クラブ入部式」が行われました。今年度入部したのは同保育所の全園児26人。式では、同クラブを代表して宮本陽向さんと園田竜士くんが「火遊びは絶対しません。お父さん、お母さんの教えを正しく守ります。礼儀正しく素直な子どもになります」と元気よく防火の誓いを宣誓。その後、中央消防署有明分署の協力で園児らによる放水訓練や、保護者を対象とした消火器の取り扱い方の説明などが行われました。



▲放水訓練を披露する園児たち



市長随筆



棚底城跡国指定史跡へ

国道266号を栖本方面から走り、倉岳小学校に通じる倉岳町棚底の交差点を少し過ぎると、左手に天草一の標高を誇る倉岳から伸びた尾根の丘陵地が見えてきます。戦国時代、上島に勢力を持っていた栖本氏と上津浦氏が領有をめぐって何度も争った棚底城の城跡がそこにあります。

城跡からは2千点以上の遺物が出土していますが、その中には、中国やベトナムのものも多く含まれています。はるか昔に、朝鮮半島や東アジアとの交易が行われていたのかと思うと、ロマンをかきたてられます。

城跡から望む景色は、眼下に防風のための石垣に囲まれた棚底の田園風景が広がり、その先には御所浦の島々が美しく並び、心が癒される思いがします。けれども、戦国時代には、この素晴らしい景色も戦略という目で眺められていたのかもしれませんが。

この棚底城跡が、天草市としては初となる国史跡の指定を受ける運びとなりました。この貴重な歴史遺産を護り後世に伝えるとともに、棚底の石垣群を含めた文化的景観の調査を進め、地域振興にもつなげていきたいと思っています。

天草市長 安田 公寛



若っ喝采

吉鶴 藍さん (倉岳町宮田・21歳)

保育士になって2年目。大好きな子どもたちの笑顔を見ながら楽しく仕事をしています。今は友だちと遊ぶことが一番の楽しみ。ゴールデンウィークには久しぶりに長い休みが取れたので、短大の友だちと旅行に行きました。これからも両親に心配かけない程度に友だちと遊んで、仕事もがんばりたいです。



宝島の健康 よろず屋

森 幸子さん (有明町須子・84歳)

毎日の楽しみは？
いきいきサロンやさわやか大学、グラウンドゴルフなどの練習に参加して、友だちとおしゃべりするのがとても楽しみです。漬け物の漬け方やおかずの調理方法など、年はとっていても自分より年下の人から教わる事が多く、とてもためになる話が多いんですよ。

健康の秘訣は？

家に閉じこもらず、出歩くように心がけています。また、毎晩薬用酒を飲んで寝ることも、健康にいいのかもしれない。



よもぎ団子を作る園児たち

のびのびとした心豊かな子どもに

宮地岳保育園 (宮地岳町)

宮地岳保育園(野嶋岩雄園長・全園児48人)は、宮地岳以外に河浦、本渡方面から園のバスで子どもたちが登園。自然豊かな環境の中で、のびのびとした心豊かな子どもの育成に努めています。本園では、園庭の畑で野菜を作り、その野菜を給食で使っているので食べ残しも少なくなりました。よもぎをつんで団子にしたり、梅干し、カレー作りも行っています。また、年長児が和太鼓に取り組み、町のイベントや施設訪問などで発表し、子どもたちの自信や思いやりの心につながっています。家庭では、親子の絵本の読み聞かせをお願いしており、毎日欠かさず読んでもらっている子どももいて、絵本大好きな子どもが育っています。

地域とともに育む保育園

五和さざなみ保育園 (五和町)

五和さざなみ保育園(梅本幸子園長・全園児47人)は、目の前に広がる青い海や豊かな自然、たくさんさんの絵本に囲まれ、子どもたちにとって最適な環境に恵まれた「いい遊び場」です。「清く、正しく、温かく」を方針に、元気な体、やさしい心を育むことを願っています。



て一日一日を大切に保育に取り組んでいます。月に一度、老人ホームのおいちゃんやおばあちゃんとの交流会を行ったりして、地域との交流を深めています。昨年から、スイミングやお寺参りにも参加しています。園では、幼いころからの体験の積み重ねを通して、「健康やかで、たくましい子ども」に育てたいと願っています。



広がる海を目の前に大きく成長する園児たち



人吉お城祭りに参加したときのようす

牛深の伝統を守る

牛深高校 (牛深町)

3年 榎田 眞弓

牛深高校郷土芸能部は部員23人で活動し、牛深の伝統芸能である牛深ハイヤを全国各地に広めるため、日々練習に励んでいます。昨年は中国の上海や茨城県で行われた日立祭で踊りを披露することができ、多くの方々からお褒めの言葉をいただくことができました。今年度は、新入部員が13人も入部し、ますます練習に熱が入っています。5月28日から行われる、県高校総合文化祭に出場が決定しています。この舞台は、3学年合同では初めての披露となるので、いいスタートが切れるように一生懸命がんばりたいと思います。これからも部員全員が一丸となって活動に取り組んでいきますので、応援をよろしくお願いします。

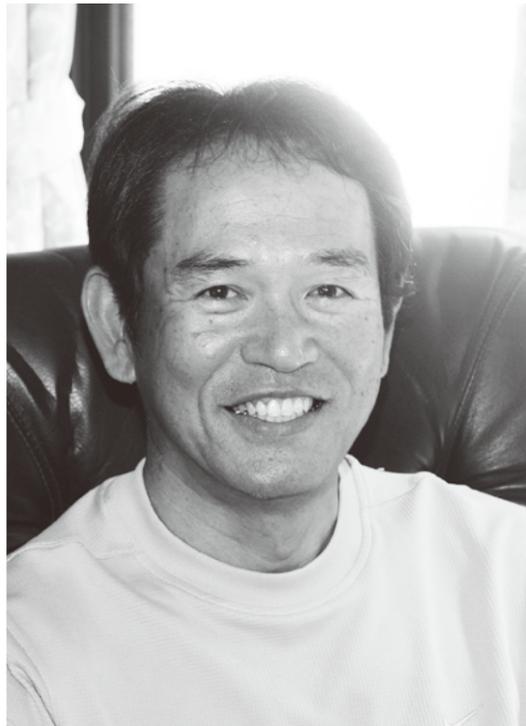
心やさしくみんなが元気 全力つくす鳥子っ子！
鳥子小学校 (有明町) 6年 丸林 美里
鳥子小学校(森田信行校長・全校児童74人)では、毎年児童会のスローガンを決め、全校をあげてその達成に向けてがんばっています。今年のスローガンは「心やさしく、みんなが元気、全力つくす、鳥子っ子！」です。鳥子小の自慢は、まず元気のよいあいさ



つです。児童会を中心にあいさつ運動に取り組み、地域の方からも喜ばれています。次に朝のボランティア活動です。1年生から6年生まで自分のできる「ちょボラ」に取り組んでいます。だから、朝から学校中がきれいです。また、いろんな行事や大会に向けて全校児童が真剣に臨み、成果を上げているのも特長です。おかげで、昨年はたくさんの方の表彰状をいただきました。



「ちょボラ」で校庭の草引きをする児童



きら煌めく人たち

「出身者を含めた地産地消のビジネス」

西嶋隆明さん（天草町下田南・62歳）

下田南地区に住む西嶋さんは、東京の大手外資系メーカーに勤めていたが、7年前に退職し故郷に帰ってきた。好きな魚釣りをしてセカンドライフを楽しみたいと考えていた。ところが、近所の家がこの5年間で7軒も空き家になるといふ現実が直面し、「このままでは町がなくなる、何かをしなくては」と思った。

そこで、天草の新鮮な魚や農産物を友人や知り合いに送って見たら大好評だったので「新たなビジネスチャンスにつながるのでは」と、昨年5月、同地区の振興会に「天草

ふるさと家族便」として提案した。早速、賛同した18人によるプロジェクトチームが立ち上がり、週1回会議を開き、しくみづくりや商品の選定、価格の設定などを行った。お客との信頼関係を築くため、会員制とし、商品は「生きてる魚・とれたての野菜・加工品の詰め合わせ」の3点セットとした。

そして、9月に地元出身者を通じて紹介したところ、約90人の会員申し込みがあり、そのうち毎月30〜40件ほど注文がくるようになった。「このビジネスのコンセプトは①お客様の満足度②生産者の利益③雇用の確保の3つで成り立っている。ただ単に商品売るのはなく、いかに商品の価値を見いだすかが大切」と語る。2月に行われた天草まちづくり発表会でプロジェクトの活動内容を報告。事業の拡大とお客様の新規開拓をしていくこととなった。「いずれは大きな事業体として、若者の雇用につながるビジネスの場を創出したい」と先の展開を見据えている。

現代に息づく歴史の証

「竹島古墳群」(有明町)

有明町大浦港沖に浮かぶ竹島には6基の円墳があり、「竹島古墳群」と呼ばれています。その中の、3号墳と4号墳はすでに発掘調査が済んでいます。3号墳の石室壁は自然の石を積み重ねて作られており、床面には赤色顔料の残る小石が敷き詰められ、箱型に仕切りを設けた横穴式石室で、その構造などから5世紀中ごろのものと推定されます。4号墳は、石室内部の壁を板石でつくっていることから3号墳よりも時代的に新しく、出土品の時期などから6世紀初頭のものと考えられます。3号墳からは鍔をかたどったと思われる石



▲歴史を感じさせる「3号墳」

製品、4号墳からは土師器片、鉄鍬の破片、フイゴの羽口片などが出土しており、ここに葬られたのは製鉄と関わりが深く、海とともに生きた豪族であったことを物語っています。この竹島古墳群は島に築かれたということもあって当時の形をよく残しており、市の史跡に指定されています。

ハッピーバースデー

今月で1歳になります



松崎 百恵 ちゃん
城下町
父・和夫さん
母・佳代さん

たっちが上手になりました。元気いっぱい百恵です。



上元 悠正 くん
新和町小宮地
父・賢正さん
母・千秋さん

よく食べ、よく寝て、よく遊ぶ元気いっぱいの悠正です。よろしくね♡



森田 朱葉 ちゃん
北浜町
父・圭郷さん
母・綾加さん

崎津&佐伊津のじいちゃん、ばあちゃん大好きバイ♡♡



赤松 希星 くん
小松原町
父・真一郎さん
母・裕美さん

元気いっぱい大きくなってね!!



野田 幸那 ちゃん
今釜新町
父・昌志さん
母・加代子さん

みんなに可愛がってもらって、いつもニコニコ笑顔です♡



橘 優人 くん
浄南町
父・英之さん
母・尚子さん

おじいちゃん、おばあちゃん大好き♡また遊んでね。



浦田 真央 ちゃん
新和町大多尾
父・宜寿さん
母・恵利子さん

お外遊びが大好きです。元気にやさしく育ててね☆



村田 将大朗 くん
本渡町広瀬
父・清也さん
母・一恵さん

倫大朗お兄ちゃん大好き♡将ちゃんスマイルでみんな幸せになれ♪



大塚 倫華 ちゃん
有明町大島子
父・恭平さん
母・美由紀さん

これからも、いつものりんかスマイルで私たちがいやしてね。

7月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=6月10日(水)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

地域ぐるり



健康で明るく住みよい豊かな町づくり

栢宇土地区振興会(富永勤会長)

栢宇土地区振興会では、関係機関との連携を密にしながら、「健康で明るく住みよい豊かな町づくり」を目標にさまざまな活動に取り組んでいます。

特に青少年育成事業に力を入れており、主な事業として公民館に寝泊りし学校へ通う「通学合宿」や、炭焼き、そば打ちなどの体験活動を行なう「自然探検隊」があり、それらは小学校のPTAを中心とする子どもランド実行委員会や老人クラブ、婦人会、区長会などが協力しながら事業を展開しています。

また、毎年秋に行なわれる「栢宇土ふるさとまつり」では、地域が一体となって農産物品評会や展示即売会、バザー、ステージ発表や文化作品



▲たくさんの人でにぎわう「栢宇土ふるさとまつり」

展などを実施しています。今後の活動としては、今年度中に地域振興計画を策定する予定となっていますので、ワークショップなどを行い、地域の現状や課題を把握し、課題でもある特産品づくりとあわせて取り組んでいきたいと考えています。

【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



「棚底城」が国指定史跡になる見通しです。私の家のすぐ近くで、子どものころ友だちとよく遊びました。城跡とは知らず基地を作ったりしていましたが、時には生理現象にも襲われ用を足したことも。そのばちが当たったのか、身長も伸びず言葉も昔のままです。【凡】

最近、おいつ子から「白髪がいっぱいあるよ」と言われて、「ほんとかよ?」と思いながら鏡の前に立ってみると、確かに目だっています。私にとって白髪は極度のストレスにより一時的に出てきたものですが、もう年齢的にそういう状態なのかなと思いました。【走】

牛深ハイヤ祭りの取材で、水産フェアに来ていた観光客をわざわざ引き止めて写真撮影をお願いしました。しかし、シャッターボタンをいくら押しても撮影できない事態に頭はパニック、体は汗で「じゅっくり」に。しばらくは、カメラとの格闘が続きそうです。【素】

「牛深ハイヤ祭り」と「輝き大会」の取材に行ったときのこと。日中の炎天下の中での取材だったので、日焼け対策バッチリ、完全防備で行ったにも関わらず顔は真っ赤に！翌日には日負けをして顔がパンパンに腫れてしまい『完熟マンゴー』みたいになりました。【葉】

「市政だより天草」は再生紙を使用しています

～河浦名産「野菜おこわ」～



河浦町は昔から米どころとして知られ、ほとんどの家庭でもち米も栽培されています。お祝い事や仏事、または農作業のこひる小昼（おやつ）に、「野菜おこわ」が郷土料理として継承されています。地元で採れる季節の野菜を具材に使用しているため、その時々のおもてなしにも、とても喜ばれています。

材 料 (約20人分)	作 り 方
もち米 …………… 1升	①もち米は、前日によく洗って水につけて(一昼夜)おく。
干しいたけ …… 3枚	②材料の干し物は水につけて柔らかくする。
切り干し大根 ……100g	③しいたけの汁はとっておいて、具のたぎ汁に使う。
油あげ …………… 1枚	④全部の材料をささがきまたは短冊に切る。
ゴボウ小 …………… 1本	⑤大きめの鍋に具を入れて、ひたひた程度よりやや少なめに水を入れ煮る。
ちくわ …………… 1.5本	⑥煮えたら酒、醤油を入れて、濃いめの味付けし、汁がなくなるまで煮る。
にんじん小 …… 1本	⑦釜に湯を沸かし沸騰したら、水切りしたもち米を蒸し器で蒸す。
干し竹の子 …… 100g	⑧40分～50分たって、蒸し器から蒸気がたったらすしおけにとり⑥と混ぜ合わせて再び蒸し器に入れて4～5分くらい蒸す。
うすくち醤油 ……180cc	⑨蒸し上がったらすぐ別の入れ物に移し入れる。
酒 …………… 大さじ3杯	⑩食卓では、ごまをふりかけると一段とおいしいです。

※とり肉、花かつお、昆布、ごま、にんじん葉を加えてもよい。

提供：市食生活改善推進員協議会

市のシンボル



【市の花】
はまぼう



【市の木】
あこうの木



【市の鳥】
かもめ



【市の魚】
鯛

市民憲章

わたしたちは、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた天草市となることを願い、ここに天草市市民憲章を定めます。

- 一 感謝の心を持ち、豊かな「しぜん」を守ります
- 一 ふるさとを愛し、誇れる「ひと」を育てます
- 一 恵まれた風土を活かし、「ものづくり」に励みます
- 一 伝統と文化を学び、安らぎのある「まち」を創ります
- 一 世代の調和を大切に、健やかな「和」を広げます